

金沢経済大学同窓会誌

わ

創刊号

平成元年9月1日

発行所/金沢経済大学同窓会事務局
〒920金沢市御所町丑10

☎(52) 2236

発行責任者/中田 邦雄

編集発行人/菅村 洋一



わ

同窓会々々
中田邦雄



会員の皆様には、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の下に学び、御卒業されて以来、それぞれの目標をめざして各方面に活躍のことと思います。このことは「石川県優良企業ガイド」の先輩からのメッセージを見ますと本会会員が沢山掲載されていること等から明らかです。先ずは御健康と御発展を心からお喜び申し上げます。

会誌を発行して会員のコミュニケーションに寄与したいと思っておりますが、時恰も同窓会発足二十年来年にひかえて待望の会報が発刊できますことは喜びに耐えませんが、毎年一回発行していきたいと思っております。

会報の役割には、三つの「わ」が

あると思います。それは「輪」と「和」と「話」と思っています。

「輪」はサークル、ネットワークを意味し、同窓会会員の仲間意識の輪になればと思います。

「和」は仲良くする、互いに気が合う、あたたかい心など皆んなの和を意味していると思います。

「話」は、話題です。情報時代と言いますが、会報によって大学と同窓会の情報を知っていただければと思います。これら三つの「わ」を目的として会誌を発行し、会員の情報交換の場にししたいと思います。

来年の秋には、同窓会発足二十周年を記念して記念行事を開催したいと思います。内容につきましてはこれから実行委員会を中心にして企画したいと思っておりますので、御協力と御参加をお願い申し上げます。

最後に、会誌発刊に際していただきました御厚意に対しまして心から感謝申し上げます。母校の発展と会員皆様の一層の御健勝を祈念してあいさついたします。

創刊によせて

理事長
稲置繁男



金沢経済大学の同窓生が相寄り相
助けて、同窓会誌を発刊されたこ
とに対し、心からおめでとくと申し
上げます。

昭和五十七年、学園創立五十周年
の会合で会報発刊の方針を決めてか
ら七年目に、この創刊号を見ることが
出来ました。社会の中堅として働
きながらの事業だけに、さぞ大変な
ことであつたろうと推察致します。

想えば昭和四十二年の開学当時は
旧館が竣工し、至誠寮が完成しただ
けで、第一回生の入学式は、星稜高
校体育館を借りて行なわれたと記憶
しています。あれから二十年の間に、
学舎、体育館等増築を重ね、創立五十
周年記念事業として、野球場、テニ

スコートの整備、さらに今年春には、
体育トレーニングセンター、そして
この程、稲置記念館完成と、まことに
隔世の感を禁じ得ません。

私はこれまで、度々同窓会に招か
れ、僅か数十名の参加者を前に「諸
君はまだ若く、一番古い人でも三十
代、仕事を覚え家庭を作ることで精
いっぱいだが、そのうちに、同窓生
や母校のことを思うようになる」と
言ってきました。第一回生の諸君も
四十歳を迎えられ、それぞれ中堅幹
部として活躍されておられます。

また、これまでに卒業された人は、
一部・二部あわせて約六、六〇〇名、
これからも毎年、何百人かの後輩が
社会人として巣立っていきます。ど
うかこの会報を起点として、卒業生
が一層連携を密にし、相励まし合っ
て21世紀へ飛躍されるよう祈念しま
す。

終りに、長い歳月を役員として苦
勞された方々に心から感謝し、創刊
によせる言葉と致します。

創刊によせて

学長 荒牧哲郎



金沢経済大学同窓会誌の創刊をお
よろこびいたします。

昭和四十二年創設、同四十六年第
一回の卒業生各位が、社会に巣立っ
てゆかれてから、すでに二十年に近

くなりました。この間、すべての卒
業生の真摯な努力と活躍が、多大な
社会的評価を得て、経済大学の社会
的地位をほぼ確実に定着させ、さら
には、将来への発展への希望をふく
らませてくださっていることにたい
して、深く感謝いたしております。
それと同時に、このことは、後につ
づく学生諸君への大きな贈り物に
なっていることも、また、疑うこと
のできない事実です。

同窓会誌の創刊は、卒業生各位
の相互関係を円滑にすることは言う
までもありませんが、先輩各位の活
躍を知ることが出来る在学生諸君に
とっても極めて有益なものであり、
まことに時宜を得た試みであると考
えます。

願わくば、この機関紙をタテ糸と
して、後輩の指針となるよう折りま
すと共に、ヨコ糸として、嘗ての学
生時代と学園生活を想起されて、明
日への新たな前進の糧としていた
きたいものです。

創刊のために惜しみない努力をつ
ぎこまれた会長、副会長その他の各
位の労に感謝いたしますと共に、
益々の発展を願ってやみません。

役員紹介



総務委員 安藤 至
金沢レジャー企画勤務

当大学の創立と同時に一期生となり、又、縁あってか、妹二人もお世話になり、何とも言い様のない気持ち一杯です。これからも兄妹共々、同窓会の御繁栄をお祈り致します。



広報委員 水谷内徹也
星陵女子短期大学勤務

まもなく20周年という「ターニング・ポイント」を迎えようとしている我が同窓会。これを機に、一層会員相互のコミュニケーションを強化させたいと考えております。



副会長 高井 治
石川県庁(畜産課)勤務

金沢経済大学に於いて学んだ我々同窓会の会員一同が、この会報を通じて、親睦を厚くし母校の発展に寄与するよう努力します。会員の皆様方のご協力をお願い致します。



副会長 東川 孝典
金沢信用金庫平和町支店勤務

第一回卒。以来、副会長の役割を力不足ながら務めている。会員も年々多くなってきている。20周年にむかって会員の協力を望みたい。



総務委員 藤村 茂
星陵女子短期大学勤務

昭和53年3月2部第一回卒業生です。同窓会も二十年目を迎えます。名簿を見ながら身近に同窓生の名を見出し、親睦をはかるきっかけが作られることを楽しみにしています。



広報委員長 菅村 洋一
デザインオフィス モアレ

対話のある広報活動、新鮮な同窓会活動の実現をはかる。充実と発展、明日のある仲間がきずなを深めあえるようにと。



企画委員長 三好 研一
練びびき塗装コンサルタント

大学に惚れよう。同窓生の手で伝統ある大学に、そして、互いに絆をより一層深めようではありませんか。皆様のご協力の程お願い致します。



企画委員 島居 茂
日本エージェンシー株勤務

卒業して19年目。思い出に残るのは、やはりクラブ活動。私は剣道部員でした。現在、総合広告代理店で企画営業をしております。我々では、卒業生、三名います。



企画委員 田中 洋之
稲富学園本部経理課勤務

若輩者ですが役員として頑張っています。同窓会のキャッチフレーズは、「きずな深まる同窓会」。皆さんと一緒に「きずな」を深めましょう。



広報委員 芝田 義則
金沢経済大学事務局勤務

大学事務局に就職以来、相変わらず学生課と就職業務を中心に頑張っています。卒業生の皆様の益々のお引き立てをお願いいたします。



総務委員長 清水 実
金沢経済大学事務局勤務

母校へ勤める関わりから、役員の一員として諸行事に参画させていただいております。微力ですが、皆様のお役に立てれば幸いです。



企画委員 小島 一夫
ホリディ・イン金沢勤務

卒業して早くも16年……。なつかしき日々を思い出し、同窓会のお手伝いをさせていただいています。空手が生んだ行動する礼節人間、よろしく願いいたします。



広報委員 細谷 達夫
能登印刷株勤務

昨年の10月末に同窓会常務理事の広報委員として会報創刊号の発刊に微力ながら参加しております。今後も同窓会活動を頑張りたいと思います。



総務委員 鶴島 秀樹
金沢スカイホテル勤務

若輩者ではありますが、本会の充実を図るとともに、本学の良き伝統を築くためにも、OB諸氏のご希望に応えるべく努力したいと思います。



大学近況

学友会 石動総司(会長)

学友会は、春に新入生歓迎祭を行い、在校生と新入生との交流の手助けをさせていただきました。現在は、学園祭の成功に向け、活動しております。

大学祭実行委員会

堀之内智博(委員長)

大学祭実行委員会では、現在、秋に行われる経大祭の準備で忙しく活動しています。メイン企画のカレッジコンサートを中心に、楽しい祭になるように、がんばっています。

第11期文化サークル連盟

安川真一郎(委員長)

今年で十一期目を向かえた我が文化サークル全体の執行部として、今年度になってからは、文化サークル予算会議、新入生歓迎祭への参加、文化サークル連盟主催のボーリング大会と、いろいろ行事を積極的に

行っていました。現在は、十月初旬の経大祭に向けての企画と準備に、文化サークル連盟役員一同、余念がありません。

体育会 中田昭生(委員長)

体育会は現在前期の大きな行事である全体集会を無事に終え今後予定されているリーダーシップ研修や学園祭の企画・準備を行っています。

今年度は、日程の都合により体育祭は出来ませんが、体育祭に代わる行事の企画を考えています。

また、各部には少数ながら新入生が入部し、それぞれの目標に向かって活動しています。

新名簿作成

についてのお願いです。

この度、平成二年十一月度に同窓会二十年の会を盛大に執り行いたいと思っております。

さて、新しく改定した会員名簿の出版をしたいと思ひ、広報委員会ではより正確な名簿作成にあたり、一人一人の会員の皆様あて、ハガキの発送をしますので返信を頂戴致したいと思ひます。また、住所不明会員の消息につきましても印刷ギリギリまで待ちたいと思ひますので、会員皆様方のご協力と情報の提供をお願い申し上げます。

編集後記

暑くて長い夏の終りは以外に早く、台風一過雨の日が続いている。昭和が平成に代わり、消費税導入が参院選で与野党の逆転を招く事態となつて、慌ただしく社会の動静が変化し続けている。

学窓を後にしてもう十九年、同窓会の動静も小さきながら変化していることを感じながら待望久しい会報の創刊号をようやくお届けすることが出来ます。

学園の進展、同窓生の活動等、会活動の充実には無くてはならない情報紙の発刊、同窓会の成人式にむけての活動の中で評価を得られるものと考えます。

充分な紙面にはまだ時間を要すると思われませんが、多くの同窓生の方々に接する機会を通して会報の指針を摸索したいと思ひます。

最後になりましたが、創刊号発刊にご努力頂きました皆様に御礼申し上げますとともに、これからの紙面づくりでの活躍も宜しく願ひする次第です。

平成元年度 同窓会理事会・総会

開催のお知らせ

日時／平成元年十月八日(日)

● 理事会／午後一時 ● 総会／午後二時

場所／金沢経済大学 46番講義室

尚、当日は第二十三回経大祭の催しと、稲置学園五十五周年を記念し建設した稲置記念館のお披露目を行ないます。